

# 本校における埼玉県高等学校職業教育技術顕彰の取り組みⅡ

## 生徒の反応を中心として

工業科 金城幸廣・商業科 手塚雅之

### 1. はじめに

高等学校教育の活性化については様々な方面で検討されている。生徒に目的意識を持たせ学業を伸ばせていくとは高等学校教育の中で重要な使命である。

また職業教育において専門分野の技術修得に向けて生徒に具体的な目的意識を持たせ学習させることは専門教育で必要な要素である。

前回、埼玉県職業教育技術顕彰を通して生徒の資格試験に対する意義と有効性を報告を行ったが、今回本校における資格試験の概要と実態の報告を行い資格試験と教育効果の報告を行う。

資格試験の意義として以下の事が考えられる。

(1) 一定の達成度を見る。

指導のまとめとして生徒の理解度を把握することは今後の指導の参考として有効である。

(2) 社会における有効度。

教育機関の果たす役割は時代に応じて変化する。高校教育において社会に備えた教育内容を整えることは大切である。従って社会的要望をとらえた資格試験を実施することが望まれている。

(3) 生徒の向学心の高揚。

社会経験のない生徒にとって基本を理解することから、難解な問題の理解へと進むことはかなりの困難を伴うことである。従って資格試験が社会において評価されているという指導に基づき、目的を持った指導方法によって生徒の向学心の高揚の手助けとなる。

本校で埼玉県職業教育技術顕彰発足と同時に従前の職業科から継続的に行われていた資格試験に取り組み、総合学科に学科改編の後も各種資格試験の取り組みに力を入れている。

### 埼玉県高等学校職業教育の概要

以下に埼玉県高等学校職業教育技術顕彰制度実施要項に基づいて概要を示す。

#### 1. 1 制度の目的

高度の職業教育技術取得者を顕彰することによって、埼玉県内の高等学校及び特殊教育諸学校の高等部に在籍する生徒が、専門教育の学習に目的意識をもち、職業資

格の取得や技術検定によって技術の習得に努め、専門教科に対する学習意欲を高めるとともに、将来、社会で活躍できる産業人を育成することを目的とする。

#### 1. 2 顕彰適格生徒

別表1～4に掲げる顕彰制度の区分により、合計9点以上の者で、次の条件を満たした者。ただし、Aランクを6点、Bランクを3点、Cランクを2点、Dランクを1点とする。

①埼玉県内の高等学校または特殊教育諸学校の高等部に在籍中の生徒であること

②過去にこの顕彰を受けたことがない者

③顕彰対象資格等が、高等学校（または高等部）入学後であること。

#### 1. 3 生徒の手続き

顕彰適格生徒は、埼玉県高等学校職業教育技術顕彰申請書（様式1）に必要事項を記入し、各種検定・大会の合格書等の写しを添えて、所属学校長に提出する。

### 2. 本校における技術顕彰所得者と実態

#### 2. 1 工業系

平成7年度	後期	3年次	8名
		2年次	1名
平成8年度	前期	3年次	7名
	後期	3年次	7名
		2年次	1名
	平成9年度	前期	3年次
後期		3年次	6名
		2年次	8名
	平成10年度	前期	3年次
後期		3年次	6名
		2年次	2名

#### 2. 2 商業系

平成7年度	後期	3年次	8名
		2年次	1名
平成8年度	前期	3年次	7名
	後期	3年次	7名
		2年次	1名
平成9年度	前期	3年次	5名
	後期	3年次	6名

	2年次	8名
平成10年度 前期	3年次	5名
	後期	3年次 6名
	2年次	8名

## 2. 3 試験と対策

本校で行っている主な資格試験の概要について以下に示す

### (1) 工業系で指導等を行っている資格試験

#### 計算技術検定試験

目的：技術計算を日常学習の基礎としている工業教育では、計算の合理化、省力化は不可欠である。本協会では一定の基準を定め、電卓・ポケコンの正しい使い方、実能力の向上を図ることを目的とする。

#### 製図検定試験

##### ① 基礎製図検定試験

##### ② 機械製図検定試験

目的：製図の基礎知識をよく理解し、投影図法を確実に把握する能力を養い、製図教育の振興を図る。

#### 情報技術検定試験

目的：工業技術者として必要な基礎的情報技術に関する知識と技能が取得されているか検定する。

### (1) 商業系で指導等を行っている資格試験

#### 簿記検定

目的：商業科目の基礎科目、経営活動に伴う取引を、明瞭に記録・計算・整理するための知識と技術の修得を図る。

#### ワープロ検定

目的：商業活動に必要な文書処理に関する知識と技術を習得させ、機器の操作の習熟の度合いを図る検定である。

#### 情報処理検定

目的：コンピュータとその利用に関する知識と技術を習得させ、情報の意義や役割について理解を図る検定。

#### 電卓検定

目的：商業活動に必要な計算を合理的、能率的に処理するための知識と技術を習得させ図る検定。

#### 英語検定

目的：英語を通して商業に関する実務を行うための知識と技術を習得させ図る検定。

#### 秘書技能検定

目的：秘書の職務について理解を持ち、一般的な秘書業務を行うのに必要な知識、技能について図る検定。

## 3. 生徒の反応

生徒1工業系（平成9年前期取得）

取得資格	取得年月日	ランク
アーク溶接技能講習	平成9年10月24日	D
漢字能力検定3級	平成9年11月7日	C
全商7-70検定3級	平成9年11月23日	C
計算技術検定3級	平成10年6月20日	B
機械製図検定	平成10年7月4日	B

### 感想

僕は入学当初、この顕彰賞を取ろうという意識は特にありませんでした。でも自分に取得できる可能性のある検定はできるだけ積極的に取り組んでいこうと、そしてその中でも興味の有無を考え、受かるかもしれないから受けてみるという自分とあまり関係のない検定の受験は避け、自分のやりたいと思う物だけ受けてきました。そのうちに、この顕彰賞を目指そうという意識が表れ、何とか検定を合格していき、今回の授賞につながりました。今までの努力が形となって表れた時は、とても嬉しく、達成感がありました。

その受けてきた検定の中で、最も強く印象に残っているのは「機械製図検定」です。この検定を受ける際で、放課後学校に残り補習を受けたのですが、始めは全然理解できなくて、正直な話、スタートからあきらめが心の中にありました。でもこの検定は、僕にとって、どうしても取得したく、そして一つの目標でもあったので、ここで負けてはならないと思い、必死に勉強し、理解しようと努力しました。そうして何とか合格する事ができました。この際にお世話になった先生方に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

この技術顕彰は、本当に自分の適性を知るのに大きく役立ちました。受かった検定は、工業、商業系が主だけど、そんな中でも勉強してみて「あまりこれは向いてないのでは？」と思うのもあれば、先に話した機械製図検定の様に、必死に夢中になって努力した物もあり、これは今後伸ばしていこう」という意識も生まれ始めました。検定を持つのはいい事だと思います。それが仮に将来に特に役に立たなかったとしてもその時に自分はこういった物に興味を持ち、それに向かって努力したんだという自分自身の証でありそして宝だと思うから。こういった姿勢を持ち続け、今後ともに興味持てる資格、これは自分への挑戦と言える資格等は、進んで取り組み、努力していきたいと思っています。

生徒の様子

この生徒は1年次においては平均以下の生徒であった

が2年次の専門教科が多くなるに従い成績全般に向上していった。

かなり優秀な成績で専門学校への進学をした。また日頃からクラスに貢献する態度が旺盛であった。

#### 生徒2（工業系女子）（平成9年前期取得）

取得資格	取得年月日	ランク
ガス溶接技能講習	平成9年7月31日	D
危険物取扱乙4種	平成9年9月25日	B
計算技術検定3級	平成9年11月15日	C
基礎製図検定	平成9年9月20日	C
漢字検定3級	平成9年11月7日	C
コンピュータ利用技術3級	平成9年9月28日	C

#### 感想

私は高校に入学してから先生の説明を聞いてはじめて技術顕彰のことを知りました。けれど、その時は「そういうものがあるんだな」程度にしか思っていませんでした。しかし、私はせっかく専門分野が勉強できる高校へ入学したのだから取得できる資格はどんどん取ろうと思っていたので興味のある検定を積極的に受けるようにしていました。そんな中で、授業内で取得できるものや、数多くの検定試験が学校で受けることができたこともあり、色々な資格を得ることができました。そして技術顕彰がもう少しで取れるという段階になってはじめて、ここまでやったのだから技術顕彰も取りたいと思いまだまだ取りたい資格はあったので試験などを受けて2年生の終わりにもらえることができました。

資格を取るというのは自分の知識を高める一番の方法だと思います。その中で技術顕彰は意欲をわかせてくれるものだと思います。私はだんだん資格試験取得に消極的になっていた時期もあり、技術顕彰を目指すことで、積極的に受けることができました。

#### 生徒の様子

この生徒は工業系列40人中、2人の女子生徒の一人である。入学当初ははっきりした進路希望はなかったが、文章にもあるように資格試験には積極的に取り組む姿勢があった。男子生徒がほとんどである工業系列を続けていくことはかなりの決心がいる。本生徒は学習の集大成として資格試験を位置づけた。資格試験が継続的な学業の手助けとなり学習意欲の消失がなかった例である。また生徒会活動その他、学校生活全般に積極的に活動し、進路も公務員試験に合格する等大変な頑張りをみせた。

#### 生徒3（工業系）（平成10年後期取得）

取得資格	取得年月日	ランク
ガス溶接技能講習	平成9年7月31日	D
計算技術検定3級	平成9年11月15日	C
漢字能力検定3級	平成10年6月30日	C
危険物取扱乙4種	平成10年8月20日	B
情報技術検定3級	平成11年1月16日	C

#### 感想

私はこの技術顕彰を取得しようと、あらゆる試験を受けてきたのですが多くの場合はおいしい所で落としてきました。そんな自分がどうしてもゆるせなく、日々粉骨渾身の思いで勉強をしました。そのおかげで来年の二月までには間に合いました。

思えばこの技術顕彰の話聞いて就職にいい、進学にいいと説明を受けてから自分もこれを取得してがんばっていこうと誓い、それからやみくもに検定を受けてきましたが準備不足や、やるタイミング遅さ等から結果は惨惨たるものでした。そしてそれらを改善しようとさらなる努力をした結果、最初に（検定として）平成九年十一月に、計算技術検定三級を取得してからは、少しずつ頑張って資格を取得してきました。

それもこれも自らの努力とまわりの先生方、同級生等のアドバイスがあってこそのものであると感じます。これからもっと頑張りたいと思います。

資格は一生の宝ですから。

#### 生徒の様子

この生徒は入学当初からかなりの学校全般に積極的な姿勢をみせた。しかし、資格試験は必ずしも合格することが絶対ではない。不合格になることにより誤りの把握と困難を乗り越える精神として教育的効果があった一例である。

#### 生徒4（商業系）（平成9年度後期取得）

取得資格	取得年月日	ランク
情報処理検定3級	平成9年2月8日	B
ワープロ検定3級	平成9年2月9日	C
秘書検定3級	平成9年6月22日	B
簿記検定3級	平成10年1月25日	C

#### 感想

主に、高等学校入学当時から、自分の進みたい道は決まっていたので商業科目を中心に資格を取得してきました。

その中でも、特に秘書検定と英語検定は、将来の希望であるサービス業へ向けての大きな自信につながっていくと思いを力を入れました。普段、学校の授業で取得でき

るものは、普段の授業で精一杯取り組みました。その他授業外での勉強が必要な場合は、朝早くからの補習などに参加をしたり、自分で問題集を買って勉強しました。

ワープロ検定などは、自宅のワープロなどを使い自宅でも練習をしました。

将来は、ホテル関係の仕事に就きたいと思っているので、秘書技能検定や英語検定など接客業に有利になっていき証明できるような資格はもっと上を目指してもっと幅広く取得していきたい。

この専門的な勉強ができる学校だからこそ、資格取得への意欲が出ていき、部活などの忙しい時でも朝早くからの補習などにも参加できました。目的があったからこんなたくさんの資格が取得できました。

生徒様子

この生徒は、将来の進路も入学時より決まっており、目標が決まっているので、将来の進路に有効な資格を多く取得している。男子にもかかわらず秘書検定などサービスに重点を置いた勉強をしていた。

生徒5（商業系）（平成9年度後期取得）

取得資格	取得年月日	ランク
漢字検定3級	平成9年7月10日	C
簿記検定3級	平成10年1月25日	C
情報処理技能検定3級	平成9年2月8日	B
全商英語検定3級	平成9年9月21日	C
全商ワープロ検定3級	平成9年6月29日	C

感想

私が資格を取った理由は「資格は武器になる」という先生の助言です。2年次に選択した授業の関係もあるのですが、色々な検定を取得するという事で、自分に自信が付いてなおかつ「進路にも優位になる」まさに一石二鳥というわけです。さらに資格の点数が9点に達すれば「技術顕彰」がもらえるということで資格を取ろうと思いました。まず、始めにやったことは商業科には「どのような種類の資格があるのか？」ということ調べ、検定日、検定料、問題集、補習は行おうかなどを確認しました。あとは、ひたすら問題を解くという方法を行いました。私が習得した検定でかなり苦戦した検定は、漢字検定です。問題集をやり、できなかった問題をいらない紙に4回くらい繰り返し書いて覚えました。3級だからといって甘くかかると落ちます。実際に、私の友達は何も勉強していかないと試験を受けて落ちました。合格率も決して高くはなく60~70、ときには50%くらいと聞きました。資格取得には十分な準備が必要という事です。

私はこれからこれらの検定を生かし、進路先でも資格が生かせるように、また、自分への財産として役立てていくつもりです。

生徒の様子

この生徒は、進学を考え、比較的に全般的に商業系の資格を取得した生徒である。進学先である大学でさらに社会科学系の研究をする予定である。課題研究においても積極的に参加をしていた。

生徒6（商業系）（平成10年度前期取得）

取得資格	取得年月日	ランク
コンピュータ利用技術検定3級	平成9年9月28日	C
秘書技能検定3級	平成9年11月9日	B
簿記実務検定3級	平成10年1月25日	C
英語検定3級	平成9年9月21日	C

感想

私は授業で商業系の科目を選択しているので、自分がどのくらい実力があるのかを知りたかったことと、就職にも便利だということで検定にチャレンジしました。私が受けた検定はほとんどが授業で勉強したものであったので、検定のために最初から勉強するということは少なかったため、そんなに大変ではありませんでした。しかし授業の内容だけでは不十分なところもあるので、朝や放課後を利用して補習を受けたりしました。また、一つの月に検定が集中してしまっていることがあるのでその月は検定の勉強のほかに学校の宿題や部活などもあって大変でした。しかし、資格は自分の実力を証明できるものだと思います。せっかく勉強したことも、何もしないで終わらせてしまったら意味がないけど、資格を取得することで、自分はこれができるとアピールできるのでとても便利だし、自分に自信がもてると思うので受けて良かったです。しかし、取得した検定の級が低いものばかりなので、これからはもっと上の級を目指して頑張りたいと思います。

生徒の様子

この生徒も、進路先に大学を考えており、全般的に商業系科目を中心に学習を進めていた。補習など積極的に参加をして3年次になってからも資格取得の為に努力をしていた。大学においても商業系の学科に進学する予定である。

#### 4. 結果と考察

研究紀要35集で報告したように資格試験の効果として理解の習熟度、学習意欲の向上、今後の資格試験に対

する取り組み等が考えられた。

資格を取得することによりすべてが保証されるものではない。資格取得を実務に向けてスターラインと捉える見方もある。しかし資格によっては専門的特殊な仕事に従事できないこともある。(アーク溶接技能講習)。まさに資格試験は様々な位置づけにある。一般に高等学校職業教育においては全国的なレベルでの各教科習熟度の目安的意味合いが強い。

今回、資格試験と高等学校教育の活性化を重点にとらえ、生徒の感想、教師サイドよりの分析をおこなったが教育の活性化からとらえてみればかなり効果があった。以下に教育効果の観点から捉えると以下のことが考えられる。

#### (1) 「総合学科」における職業教育の効率化

本校は従前の職業科より総合学科に移行することによりかなり専門教育を行う時間が削減された、しかし、今後教育の効率(同一内容の理解に対する時間の短縮)という面をとらえてみれば注目することである。

#### (2) 学校の社会に対する役割

最近、社会や学校において漢字検定試験の実施状況が拡大している。これは現在の活字離れに対する反省と対策の一例であると分析される。従って社会状況をとらえた検定試験の内容分析は重要である。

資格試験を絶対視する面からみると「競争社会」の弊害等でマイナス面が多い場合もある。生徒の感想にあるように「授業の一環として資格試験を受けることにより合格後自信につながった。放課後の講習や先生の分かりやすい指導で多くの検定に挑戦することができました。検定試験は自分自身の向上のステップになると思う。競い合って取るものでもなく、職業に利用するものでもなく、地道に学んでいくための糧としたい。」という観点から資格試験を位置づけることが広い意味で教育効果として大きいと思われる。

#### (3) 技術顕彰制度の拡大

現在、技術顕彰制度を実施している都道府県はかなり少ないと予想される。この埼玉県職業教育技術顕彰制度の教育的効果を拡大する為に全国的に拡大することが望まれる。その為には本研究報告が他の都道府県教育委員会等で議論されるようになることを要望する。

#### 今後の課題

埼玉県教育機関においては資格ランクや新たな資格試験の追加等継続的に行われた。これはきわめて評価できることである。

資格試験指導においてコンテスト入賞のランクが低いように判断される。今後更に資格難易度の分析が必要とされる。

#### 5. 終わりに

資格については社会でも注目されている。朝日新聞に「資格幻想」という記事があり資格についての功罪が指摘されていた。それによると

##### (1) プラス面

(A) 資格があることにより専門的な職業に従事することができ、最就職にも有利。

(B) 資格試験を受けることにより自分に対する挑戦ができる。

(C) 資格試験を通して、同じ資格を目指す人との交流ができる。

##### (2) マイナス面

(A) 時間と費用をかけても思うように活用できない。

(B) 資格は取ったが実務では役に立たなかった。

というふう幻想という捉え方もあった。

このように教育現場、社会一般で扱われている事項に対して恒に功罪両面から考えることは大切である。

本報告は資格試験を、職業教育活性化の面で捉え、教育目標達成や学習意欲向上の手段としてきわめて有効であると考えたが、今後様々な角度から検討を加えていきたい。

#### 参考文献

\* 筑波大学附属坂戸高等学校研究紀要 第35集

本校における埼玉県高等学校職業教育技術顕彰の取り組み I

埼玉県知事様

学校名 \_\_\_\_\_ 学校  
 生徒氏名 \_\_\_\_\_ 印  
 学科・コース名 \_\_\_\_\_  
 学 年 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 性別 \_\_\_\_\_  
 生年月日 \_\_\_\_\_ 昭和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

このことについて、下記の職業資格等を得ましたので埼玉県高等学校職業教育技術顕彰制度実施要綱第7条の規定に基づき、合格証書等の写しを添えて申請します。  
 取得した職業資格等の内容

No.	種 目	資格・検定試験等の名称	主 催 団 体 等	取 得 年 月 日	ラ ン ク	得 点
1	情報処理	情報処理能力検定試験	全国経理学校協会	平成9年2月8日	B	3
2	ワープロ	ワープロ実務検定試験	埼玉県商業教育研究会	平成9年2月9日	C	2
3	情報技術	情報技術検定試験	全国工業校長長協会	平成9年1月8日	C	2
4	秘書	秘書技能検定試験	実務技能検定協会	平成9年6月22日	B	3
5						
6						
7						
合 計 得 点						10

図1

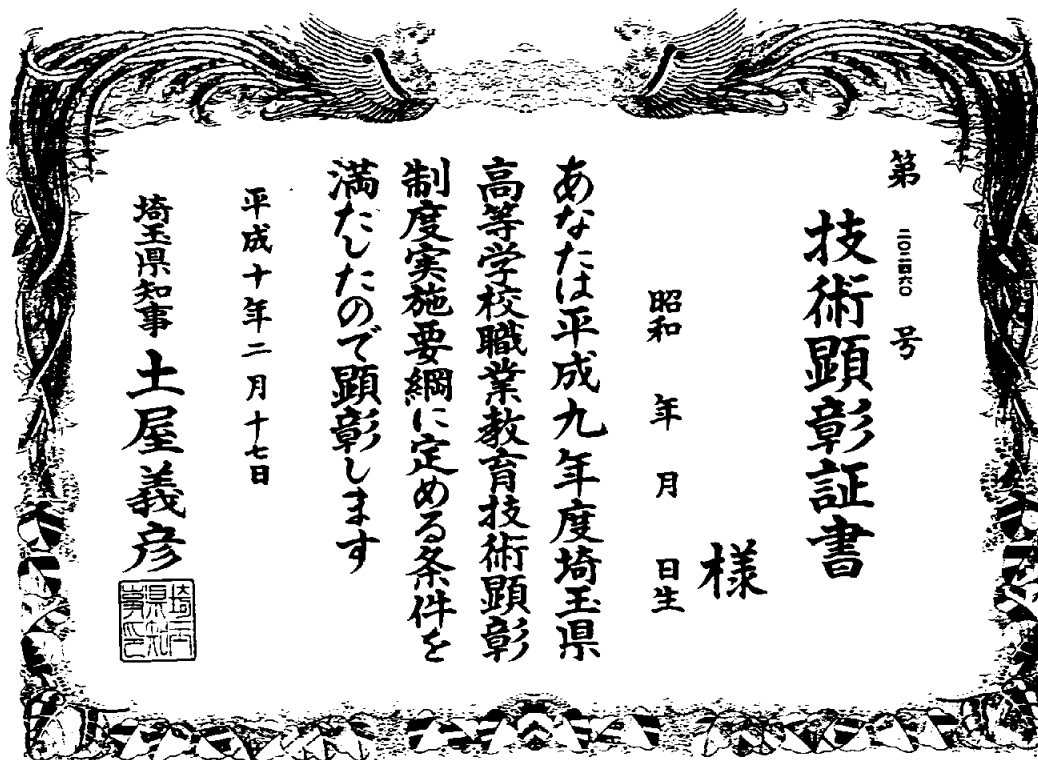


図2

(別表1)  
顕彰表彰年度の区分(農業)

種 目	資格・検定試験等の名称	主 催 団 体 等	ラ ン ク			
			A (6)	B (3)	C (2)	D (1)
測量技術検定	測量技術検定	県学校農業クラブ連盟		上 級	中 級	初 級
測 量	測 量 士	建設省国土地理院	合 格			
	測 量 士 補	建設省国土地理院	合 格			
農 業 機 械	農業機械技術検定	県学校農業クラブ連盟		上 級	中 級	初 級
	大型特殊自動車免許	県公安委員会		合 格		
簿 記	農業簿記実務検定	県学校農業クラブ連盟		上 級	中 級	初 級
毒 物 劇 物	毒物劇物取扱責任者(一般)	県衛生部薬務課	合 格			
	毒物劇物取扱責任者(農業)	県衛生部薬務課			合 格	
	毒物劇物取扱責任者	厚生省			特定品目	
危 険 物	危険物取扱責任者乙種1-6類	自治省	合 格	乙種4類	丙 種	
ガ ス 溶 接	ガス溶接技能講習	労働安全衛生管理協会				修了
ア ー ク 溶 接	アーク溶接技能者講習	労働安全衛生管理協会				修了
ボ イ ラ	ボイラ技士	労働安全衛生管理協会	2 級			
ク レ ー ン	1トン未満移動式クレーン技能講習	労働安全衛生管理協会				修了
	1トン未満固定式クレーン技能講習	労働安全衛生管理協会				修了
	5トン未満クレーン取扱技能講習	労働安全衛生管理協会			修了	
玉 掛	玉掛け講習会(1トン未満)	労働安全衛生管理協会				修了
造 園 技 術 検 定	高等学校造園技術検定	文部省(農業高校長協会)	1 種	2 種		
施 工 管 理	造園施工技術者	建設省	合 格			
造 園	造園技能検定3級	労働省	合 格			
園 芸	園芸装飾技能検定3級	労働省	合 格			
フラワーデザイン	フラワーデザイン検定	日本フラワーデザイン協会	3 級			
実 験 動 物	実験動物二級技術師	社団法人日本実験動物協会		合 格		
農 業 鑑 定	農業鑑定競技会	日本学校農業クラブ連盟 ブロック学校農業クラブ連盟 県学校農業クラブ連盟	全国最優秀賞・優秀賞	県最優秀賞	県入賞	
農業プロジェクト発表	農業プロジェクト発表会	日本学校農業クラブ連盟 ブロック学校農業クラブ連盟 県学校農業クラブ連盟	全国最優秀賞・優秀賞・ブロック最優秀賞	県最優秀賞	県入賞	

顕彰表彰年度の区分(農業)

種 目	資格・検定試験等の名称	主 催 団 体 等	ラ ン ク			
			A (6)	B (3)	C (2)	D (1)
農 業 意 見 発 表	農業意見発表会	日本学校農業クラブ連盟 ブロック学校農業クラブ連盟 県学校農業クラブ連盟	全国最優秀賞・優秀賞・ブロック最優秀賞	県最優秀賞	県入賞	
測 量 技 術 競 技	測量技術競技会	日本学校農業クラブ連盟 ブロック学校農業クラブ連盟 県学校農業クラブ連盟	全国入賞	県最優秀賞	県優秀賞	努力賞
家 畜 審 査	家畜審査競技会	日本学校農業クラブ連盟 県学校農業クラブ連盟	全国最優秀賞・優秀賞	県最優秀賞	県入賞	
製 団	全国デザインコンクール	日本造園建設業協会	最優秀賞	入 選	佳 作	
農業情報処理競技	農業情報処理競技会	日本学校農業クラブ連盟 県学校農業クラブ連盟	全国最優秀賞	県最優秀賞	県入賞	

(付)

- 1 ランクは、A、B、C、Dの4段階とする。
- 2 Aを6点、Bを3点、Cを2点、Dを1点とし、合計9点以上を顕彰対象とする。
- 3 同一種目内の各種資格・検定試験等については一種目とみなす。(コンクール・競技会等については別種目扱いとする。)
- 4 顕彰は、一人一回とする。

(別表2)  
 顕彰制度の区分(工業)

種 目	資格・検定試験等の名称	主 催 団 体 等	ラ ン ク			
			A (6)	B (3)	C (2)	D (1)
製 図	製図検定試験	全国工業高等学校校長協会		合 格		
	基礎製図検定試験	全国工業高等学校校長協会			合 格	
レ タ リ ン グ	レタリング技能検定試験	実務技能検定協会	1・2級	3 級	4 級	
ト レ ー ス	トレース技能検定試験	実務技能検定協会	1・2級	3 級	4 級	
イ ラ ス ト	テクニカルイラストレーション	埼玉県職業能力開発協会	1 級	2 級		
計 算 技 術	計算技術検定試験	全国工業高等学校校長協会	1 級	2 級	3 級	4 級
溶 接	溶接JIS検定試験	日本溶接協会			合 格	
ガ ス 溶 接	ガス溶接技能講習	労働安全衛生管理協会 労働技能講習協会				修了
アーク溶接	アーク溶接技能者講習	労働安全衛生管理協会 労働技能講習協会				修了
ボ イ ラ	小型ボイラ取扱特別講習	労働安全衛生管理協会				修了
	ボイラ技士	日本ボイラ協会	2 級			
特別教育	自由研削といし	労働省許可・労働基準局主管 労働技能講習協会				修了
	クレーン運転	労働技能講習協会				修了
電 気	低圧電気取扱者講習	労働安全衛生管理協会				修了
	第三種電気主任技術者	通産省	3 種			
電 気 工 事	電気工事士	通産省	1 種	2 種		
	工事担当者アナログ	郵政省	1・2種	3 種		
通 信 工 事	工事担当者デジタル	郵政省	1・2種			
	ラジオ音響技能検定試験	実務技能検定協会	1 級	2 級	3 級	4 級
家 庭 電 気	家庭用電気機器修理技術者	家電製品協会		合 格		
	家庭用電子機器修理技術者	家電製品協会		合 格		
無 線 通 信	総合無線通信士	郵 政 省	2・3級	4級海上		
	陸上無線通信士	郵 政 省	2 級			
	アマチュア無線技士	郵 政 省	1 級	2 級	3 級	4 級
	海上特殊無線技士	関東電気通信管理局	1 級	2 級	3 級	
	陸上特殊無線技士	関東電気通信管理局	1 級	2 級	3 級	
	レーダー特殊無線技士	関東電気通信管理局			合 格	
	国内電信級陸上特殊無線技士	関東電気通信管理局			合 格	

顕彰制度の区分(工業)

種 目	資格・検定試験等の名称	主 催 団 体 等	ラ ン ク			
			A (6)	B (3)	C (2)	D (1)
ロ ボ ッ ト	産業用ロボット特別教育講習	労働安全衛生管理協会				修了
測 量	測量士	建設省国土地理院	合 格			
	測量士補	建設省国土地理院	合 格			
危 険 物	危険物取扱責任者乙種1-6	自治省	合 格	乙種4類	丙 種	
情 報 技 術	デジタル情報技術検定	実務技能検定協会		2 級	3 級	4 級
	ポケコン技術検定	全国工業高等学校校長協会	1 級	2 級 上 級	3 級 基礎級	
	マイコン・ユー・アプリ開発技術者	日本情報処理協会	初・中級			
	情報処理技術者	通 産 省	1・2種			
	情報技術検定	全国工業高等学校校長協会	1 級	2 級	3 級	



	システムアドミニストレータ試験	通産省	合格			
	画像情報技能検定CG部門	画像情報教育振興協会	1・2級合格	3級合格		
画像処理技術	テクニカルイラストレーション	画像情報教育振興協会	1級	2級	3級	
	画像情報技能検定マルチメディア部門	画像情報教育振興協会	2級	3級		
	画像情報技能検定画像処理部門	画像情報教育振興協会	1・2級	3級		
建設機械	小型車両系建設機械特別教育講習(3トン未満)	労働安全衛生管理協会				修了
	車両系建設機械技能講習(3トン以上)	労働安全衛生管理協会				修了
施行技術	土木施工技術者	建設省	合格			
	建築施工技術者	建設省	合格			
消防設備	消防設備士	自治省	甲種	乙種		
毒物劇物	毒物劇物取扱責任者(一般)	県衛生部業務課		合格		
公害防止	公害防止管理者(1~4種)	産業公害防止センター(通産)	合格			
ガス	第3種冷凍機責任者	高圧ガス保安協会(県)		合格		
	LPガス丙種化学責任者	高圧ガス保安協会(県)		合格		
	LPガス第2種販売主任者	高圧ガス保安協会(県)		合格		

顕彰制度の区分(工業)

種目	資格・検定試験等の名称	主催団体等	ラ ン ク			
			A(6)	B(3)	C(2)	D(1)
ガス	ガス主任技術者	高圧ガス保安協会(県)		合格		
	高圧製造ガス保安責任者	高圧ガス保安協会(県)		合格		
化学物質	特定化学物質等作業主任者技能講習	労働安全衛生管理協会				修了
有機溶剤	有機溶剤作業主任者技能講習	労働安全衛生管理協会				修了
工業英語	工業英語	日本工業英語協会	1・2級	3級	4級	
	工業英語	早稲田ミシガン大学	1・2級	3級	4級	
玉掛	玉掛け講習会(1トン未満)	労働安全衛生管理協会				修了
冷凍車両	冷凍車両講習					修了
製 団	全国製団コンクール	全国工業高等学校長協会	金賞銀賞	銅賞		
	製団コンクール	東日本建築研究会	金賞銀賞	銅賞		
計 算 技 術 情 報 技 術	計算技術競技会	埼玉研・全工高長協会	全国入賞	県1・2位	県3位	
	全国高校生プログラミングコンテスト	通産省	優秀賞	優良賞	佳作	
ロ ボ ッ ト	工業高校生アイデアロボットコンテスト	埼玉県教育委員会			入賞	
	工業高校生プログラミングコンテスト	埼玉県教育委員会			入賞	
テクノコンテスト	製団部門・電気工事部門	埼玉県工業教育研究会		最優秀賞	入賞	
発 明 く ゃ う	発明創意くふう展	県商工部工業振興課	全国入選		入選	

(付)

- 1 ランクは、A、B、C、Dの4段階とする。
- 2 Aを6点、Bを3点、Cを2点、Dを1点とし、合計9点以上を顕彰対象とする。
- 3 同一種目内の各種資格・検定試験等については一種目とみなす。(コンクール・競技会等については別種目扱いとする。)
- 4 顕彰は、一人一回とする。

(別表3)  
 品目章の区分(商業)

種 目	資格・検定試験等の名称	主 催 団 体 等	ラ ン ク			
			A (6)	B (3)	C (2)	D (1)
簿 記	簿記検定試験	日本商工会議所	1・2級	3級	4級	
	簿記能力検定試験	全国経理学校協会	総合1級	1級科目 2級	3級	4級
	簿記実務検定試験	全国商業高等学校協会	総合1級	1級科目 2級	3級	
	簿記検定試験	埼玉県商業教育研究会	総合1級	1級科目 2級	3級	4級
情 報 処 理	情報処理技術者試験	通商産業省	1・2種			
	情報処理検定試験	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	
	情報処理能力検定試験	全国経理学校協会	2級	3級		
	情報処理技能検定試験	日本情報秘書技能検定協会	1級	2級	3級	
	コンピュータ利用技術検定試験	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	
	シスアドミニストレータ試験	通産省	合 格			
タイプライティング	タイプライター検定試験	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	
	タイピスト技能検定試験	日本商工会議所	1・2級	3級		
	英文タイプ実務検定試験	埼玉県商業教育研究会	1級	2級	3級	
ワードプロセッサ	ワープロ実務検定試験	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	4級
	英文ワープロ実務検定試験	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	4級
	日本語文書処理技能検定試験	日本商工会議所	2級	3級	4級	
	ワープロ実務検定試験	埼玉県商業教育研究会	1級	2級	3級	4級
	英文ワープロ実務検定試験	埼玉県商業教育研究会	1級	2級	3級	4級
	文書処理能力検定試験	全国経理学校協会	1級	2級	3級	
	日本語ワープロ実務検定試験	日本語ワープロ検定試験協会	1級	2級	3級	4級
英 語	英語検定試験	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	
	実用英語技能検定試験	日本英語検定協会	準2級	3級		
珠 算	珠算能力検定試験	日本商工会議所	2級	3級	4級	
	珠算実務検定試験	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	4級
	珠算技能検定試験	埼玉県商業教育振興会	1級	2級	3級	4級
	珠算検定試験	全国珠算教育連盟	1級	2級	3級	4級
	珠算計算能力検定試験	全国経理学校協会	1級	2級	3級	
販 売 士	小売商(販売士)検定試験	日本商工会議所	2級	3級		

品目章の区分(商業)

種 目	資格・検定試験等の名称	主 催 団 体 等	ラ ン ク			
			A (6)	B (3)	C (2)	D (1)
商 業 経 済	商業経済検定試験	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	
秘 書	秘書技能検定試験	実務技能検定協会	2級	3級		
	秘書能力検定試験	全国経理学校協会	2級	3級		
速 記	速記検定試験	全日本速記教育協会	2級	3級		
電 卓	電卓計算能力検定試験	全国経理学校協会	1級	2級	3級	
	電卓実務検定試験	全国商業高等学校協会	1級	2級	3級	
	電卓技能検定試験	埼玉県商業教育振興会	1級	2級	3級	4級
書 写	硬筆検定試験	日本書写技能検定協会	1級	2級	3級	
漢 字	日本漢字能力検定	日本漢字能力検定協会	準1級	2級	3級	4級
税 務 会 計	税務会計検定試験	全国経理学校協会	1級	2級	3級	

簿記	全国高等学校簿記コンクール	全国商業高等学校協会	団体入賞			
			個人入賞			
	全国高等学校簿記コンクール 埼玉県予選	埼玉県商業教育研究会		団体優勝	団体入賞	
	埼玉県高等学校簿記競技大会	埼玉県商業教育研究会		個人優勝	個人入賞	
情報処理	全国高等学校プログラミング コンテスト埼玉県予選	埼玉県商業教育研究会		団体優勝	団体入賞	
				個人優勝	個人入賞	
	全国高等学校プログラミング 競技会	全国商業高等学校協会	団体入賞 個人入賞			
	全国高等学校プログラミング コンテスト	通産省	入賞			
		全国商業高等学校協会	入賞			
	プロダクションエンジニア 試験	通産省	合格			
タイプ・ワープロ	全国高等学校タイプ・ワープロ 競技大会(英文・和文)	全国商業高等学校協会	団体入賞 個人入賞			
	関東高等学校タイプ・ワープロ 競技大会(英文・和文)	関東地区商業教育研究会	団体入賞 個人入賞			
	埼玉県高等学校タイプ・ワープロ 競技大会(英文・和文)	埼玉県商業教育研究会		団体優勝 個人優勝	団体入賞 個人入賞	
珠算	全国高等学校珠算競技大会 (総合)(種目)	全国商業高等学校協会	団体入賞 個人入賞			
	段位認定試験(珠算・暗算)	日本珠算連盟	初段			
	全国高等学校珠算競技大会 埼玉県予選	埼玉県商業教育研究会		団体優勝 個人優勝	団体入賞 個人入賞	

顕彰表彰制度の区分(商業)

種目	資格・検定試験等の名称	主催団体等	ラ ン ク			
			A (6)	B (3)	C (2)	D (1)
珠算	県民珠算競技大会 (高校総合・種目)	埼玉県産業教育振興会		団体優勝 個人優勝	団体入賞 個人入賞	
英語	全国高等学校英語スピーチ コンテスト	全国商業高等学校協会	入賞			
	全国高等学校英語スピーチ コンテスト埼玉県予選	埼玉県商業教育研究会		優勝	入賞	
	全国国際教育英語日本語スピーチ コンテスト	全国高等学校国際教育研究協議会	入賞			
	埼玉県国際教育英語日本語 スピーチコンテスト	埼玉県高等学校国際教育研究 協議会		優勝	優秀賞 入賞	
研究大会	生徒商業研究発表大会	全国商業高等学校協会	入賞			
	生徒商業研究発表大会	埼玉県商業教育研究会		最優秀賞	入賞	

(付)

- 1 ランクは、A、B、C、Dの4段階とする。
- 2 Aを6点、Bを3点、Cを2点、Dを1点とし、合計9点以上を顕彰対象とする。
- 3 同一種目内の各種資格・検定試験等については一種目とみなす。
- 4 顕彰は一人一回とする。

(別表4)  
顕彰表彰制度の区分(家庭)

種 目	資格・検定試験等の名称	主 催 団 体 等	ラ ン ク			
			A (6)	B (3)	C (2)	D (1)
食 物	食物調理技術検定	全国高等学校家庭科教育振興会	1 級	2 級	3 級	4 級
和 裁	被服製作技術検定	全国高等学校家庭科教育振興会	1 級	2 級		
洋 裁	被服製作技術検定	全国高等学校家庭科教育振興会	1 級	2 級	3 級	4 級
保 育	保育技術検定	全国高等学校家庭科教育振興会	1 級	2 級	3 級	
編 物	編物(手織機)技術検定	全日本編物教育協会		中 級	初 級	
	毛糸編物技能検定	全日本編物検定協会(文部省)	1 級	2 級	3 級	
	レース編物技能検定	全日本編物検定協会(文部省)	1 級	2 級	3 級	
被 服	繊維製品品質管理士試験(TES・テス)	日本衣料管理協会(通産省)	1 級	2 級	3 級	
	クリーニング師試験	都道府県衛生部(厚生省)	合 格			
服飾デザイン	色彩検定	全国服飾教育者連合会	2 級	3 級		
着 付	きものコンサルタント試験	全日本きものコンサルタント協会(通産省)	5 級	6 級	7 級	8 級
点 字	点字試験	全国盲学校長協会	1 位	2 位		
手 話	手話講習会	社会福祉法人社会福祉協議会				修了
救 急 法	赤十字救急法普通科講習	日本赤十字社埼玉県支部				修了
	赤十字救急法一般講習修了証	日本赤十字社埼玉県支部				修了
	赤十字救急法適任者	日本赤十字社埼玉県支部		合 格		
	赤十字救急法一般講習修了証	日本赤十字社埼玉県支部		合 格		
書 写	硬筆検定試験	日本書写技能検定協会	1 級	2 級	3 級	
ホームプロジェクト学校家庭クラブ研究発表	ホームプロジェクト学校家庭クラブ研究発表	県 高等学校家庭クラブ連盟 地区高等学校家庭クラブ連盟 全国高等学校家庭クラブ連盟	全国最優秀賞 全国優秀賞・地区最優秀賞	県最優秀賞	県入賞	
食 物	国・県レベルのコンテスト	農水省・県農林部等	全国優秀賞入賞	県優秀賞	県入賞	
	ヤングレディ・ライスクッキングコンテスト	食糧庁	全国入賞			
	高校クッキング選手権	日本テレビ・読売テレビ・読売新聞社・朝日新聞社	全国入賞	関東大会1位	関東大会入賞	
	高校料理コンクール	全校高校家庭クラブ連盟		1 位	入賞	
	ホームプロジェクトコンクール	全国高校家庭クラブ連盟	全国入賞			

顕彰表彰制度の区分(家庭)

種 目	資格・検定試験等の名称	主 催 団 体 等	ラ ン ク			
			A (6)	B (3)	C (2)	D (1)
編 物	高校生編物コンクール	全国高校家庭クラブ連盟	全国入賞			
服飾デザイン	全日本洋裁コンクール	全日本洋裁技能検定協会	全国最優秀賞・優秀賞・入賞・県最優秀賞	県優秀賞 県入賞		
	国・県レベルのファッションショー	通産省、各種万博、県商工部等				
	ファッションカラーコーディネーター	全国服飾教育連合会	2 級	3 級		
デザインイラスト	全日本高校デザイン・イラスト展	全国美術デザイン専門学校教育振興会、財団法人専修学校教育振興会	入賞	入賞		

(付)

- 1 ランクは、A、B、C、Dの4段階とする。
- 2 Aを6点、Bを3点、Cを2点、Dを1点とし、合計9点以上を顕彰対象とする。
- 3 同一種目内の各種資格・検定試験等については一種目とみなす。(コンクール・競技会等については別種目扱いとする。)
- 4 顕彰は、一人一回とする。